【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【公開番号】特開2012-134815(P2012-134815A)
【公開日】平成24年7月12日(2012.7.12)
【年通号数】公開・登録公報2012-027
【出願番号】特願2010-285878(P2010-285878)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/56　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ
Ｇ０３Ｂ　17/56　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成25年12月24日(2013.12.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
本体部と、前記本体部に対して着脱自在なハンドル部とを備える撮像装置であって、
前記ハンドル部は、
前記ハンドル部と前記本体部とを電気的に接続する第１の端子部を有するハンドル側コネクタと、
前記ハンドル部を前記本体部に取り付ける第１の固定部材と、
前記ハンドル側コネクタを前記ハンドル部に取り付けるための第２の固定部材と、
前記ハンドル側コネクタと前記第２の固定部材との間に介在する弾性部材とを備え、
前記本体部は、
前記ハンドル側コネクタの前記第１の端子部と電気的に接続される第２の端子部を有する本体側コネクタと、
前記第１の固定部材が取り付けられる本体側固定部と、を備え、
前記第１の固定部材が前記本体側固定部に取り付けられた状態で、前記第１の端子部と前記第２の端子部とが電気的に接続されるように、前記ハンドル側コネクタと前記本体側コネクタとが接続されることを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
前記第１の固定部材が前記本体側固定部に取り付けられることによって前記ハンドル側コネクタが前記本体側コネクタに接続された状態において、前記ハンドル側コネクタは前記弾性部材によって前記本体側コネクタに押し付けられることを特徴とする請求項１記載の撮像装置。
【請求項３】
前記ハンドル部は、
前記本体部を操作する操作部及びアクセサリの少なくとも一方が取り付けられる入出力端子と、
前記操作部及び前記入出力端子の少なくとも一方と前記本体部との間で電気信号の送信もしくは受信を行うために前記ハンドル部のフレーム内に設けられ、前記操作部及び前記入出力端子の少なくとも一方と前記ハンドル側コネクタが有する前記第１の端子部とを電

気的に接続する信号伝達部と、をさらに有することを特徴とする請求項１又は２記載の撮像装置。
【請求項４】
前記ハンドル側コネクタは、段ビスが螺合されるビス穴を有し、
前記弾性部材と前記第２の固定部材はそれぞれ前記段ビスが挿通される穴部を有し、
前記段ビスを、前記弾性部材と前記第２の固定部材にそれぞれ設けられた前記穴部に挿通させ、且つ、前記ハンドル側コネクタに設けられた前記ビス穴に螺合させることで、前記ハンドル側コネクタが前記第２の固定部材に取り付けられていることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項５】
前記ハンドル部は、複数の前記第２の固定部材を有し、
前記ハンドル部が前記本体部に固定された状態において、前記ハンドル側コネクタは前記複数の第１の固定部材の間に配置されていることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項６】
前記ハンドル部が前記本体部に固定された状態において、前記ハンドル側コネクタが有する前記第１の端子部は、前記複数の第１の固定部材を結ぶ直線上に位置するように設けられていることを特徴とする請求項５記載の撮像装置。